「切除不能進行・再発胃癌を対象としたS-1/シスプラチン併用（CS）療法とドセタキセル/シスプラチン/S-1併用（DCS）療法のランダム化第Ⅲ相試験」の附随研究
化学療法を施行した進行胃癌におけるバイオマーカーに関する研究
（研究番号 JCOG1013A1）
について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
本研究は、JCOG1013 試験に参加いただいた胃がん患者さんの腫瘍組織そのものや、腫瘍組織から抽出した DNA(デオキシリボ核酸)、RNA(リボ核酸)、タンパクを調べることで、胃がんの特徴と関連のある異常を見つけ出すこと、および治療効果や予後を予測できるマーカーを見つけ出すことを目的としています。

【対象】
JCOG1013「切除不能進行・再発胃癌を対象としたS-1/シスプラチン併用（CS）療法とドセタキセル/シスプラチン/S-1併用（DCS）療法のランダム化第Ⅲ相試験」に参加して治療を受けられた方

【調査項目】
検査または手術の際に採取した腫瘍組織の標本を作製し、DNA、RNA、タンパクの解析を行います。
　DNAを用いて次世代シークエンサーという機器により、遺伝子に変異があるかどうかの解析、RNA を用いた発現解析、免疫組織化学によるタンパク解析という方法により、どのような遺伝子やタンパクが機能しているのかを解析します。それら解析の結果と、あなたに参加いただいた JCOG1013 試験で収集された臨床情報をあわせて、例えば、将来、胃がんに対し抗がん剤治療を行う必要があると診断された時点で、治療の効果が予測できるかの検討などを行います。

　なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】
承認日から　2027 年 12 月末（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】
JCOG（Japan Clinical Oncology Group：日本臨床腫瘍研究グループ）
胃がんグループ参加医療機関
http://www.jcog.jp/basic/partner/group/mem_scsg.htm

- 研究代表者 国立国際医療研究センター がん総合診療センター 山田 康秀
- 研究事務局 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 岩佐 悟
- 研究事務局 埼玉県立がんセンター 消化器内科 高橋 直樹
- 国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 JCOG データセンター

【研究代表者】
JCOG1013A1 研究代表者
山田 康秀
国立国際医療研究センター がん総合診療センター
〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
TEL：03-3202-7181
FAX：03-3207-1038

【研究事務局】
JCOG1013A1 研究事務局
岩佐 悟
国立がん研究センター中央病院 消化管内科
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
TEL：03-3542-2511
FAX：03-3542-3815

高橋 直樹
埼玉県立がんセンター 消化器内科
〒362-0806　埼玉県北足立郡伊奈町小室 780
TEL：048-722-1111
FAX：048-722-1129

【当院の研究責任者】
益澤　徹
関西労災病院　消化器外科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）